



湯梨浜町観光協会

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい温泉 5-22

TEL(0858)35-4052 FAX(0858)35-4701

H P <http://www.yurihama-kankou.jp/>

F B <https://www.facebook.com/yurihamakannkou>

湯梨浜町観光協会 会員募集中!!

はわい温泉・東郷温泉観光案内所

レンタサイクル用自転車 **NEW** 導入

◆人混みを避けられ、自由にまちを散策できる旅のツールとして大注目の「自転車」。自家用車でお越しの方も、気分を変えて自転車に乗り替えれば、見える景色も変わり違った旅の楽しみ方が見つかるかもしれません。

はわい温泉・東郷温泉観光案内所では以前からレンタサイクル事業を展開していましたが、お客様より“東郷湖一周したいけれど、この自転車ではちょっと大変”という声が多くあり、ついに！一番希望の多かった「電動アシスト自転車(5台)」と、「変速付シティサイクル(5台)」を導入いたしました。

電動アシスト付き自転車は、ペダルを踏み込む力を電動で補助(アシスト)する自転車で、走り出しがとて楽♪上り坂もスイスイ走ることができます。

「早速、その自転車で東郷湖一周したい!」ということで、電動アシスト体験に鳥取県中部在住の松本親子、撮影隊として町内出身で鳥取砂丘でマウンテンバイクに乗って砂丘、山道、ビーチを行く絶景ツアーを催行されている

「TRAIR ON(トレイルオン)」代表の小椋宣洋さんに依頼し、東郷湖一周に密着してきました。



▲バスポートのいらぬ中国で大ジャ〜ン♪(中国庭園燕趙園)

▲東郷湖畔公園の湯つぼで温泉たまごに挑戦

3月23日(水)観光案内所に集合«(´ ˘ ˘ *)»
「自転車、久しぶりすぎる〜。乗れるかな」と母。
「私も久しぶりだよー、でも楽しみ」と娘。3台のカメラをスタンバイするカメラマン。

案内所の和湯氏から、自転車の使用方法や注意事項についての説明を受けてから試運転。いつもの調子でペダルをこごと「お〜っ!進む〜いいね」少しこいだけで予想以上に進むモーターの威力を確かめつつ、ヘルメットを被っていざ出発!

※「鳥取県支え愛交通安全条例」では自転車利用者全員のヘルメット着用を努力義務としています。

車道を左側通行、歩道を走る場合は歩道の車道寄りを徐行します。レークサイド・ゆりはまヴレッジを過ぎると東郷湖がひらけてきました。キラキラと陽の光に照らされた水面、羽を休める水鳥、もうすでに遠くなったはわい温泉旅館、冷たい風が頬を通り抜ける心地よさ♪何か言いたげにたまに振り返って笑う母。普段車で通るお馴染みの景色なのに今日は全く違います。めぐみの公園を過ぎ、東郷エリアへ差し掛かりました。東郷湖畔公園内、毘沙門天の足湯近くの湯つぼで温泉たまごに挑戦。待っている間に足湯でほっこり。松崎駅からゆるりん館、四ツ手網、そして勾配のある藤津の桜並木に差し掛かりました。

「イける!ここは問題なく走ることができましたよ(´▽`*)

せっかくだから倭文神社にも立ち寄りましょう!と進んだものの、ここの坂はちょっと厳しかったようです(´ ˘ ˘ `)
出雲山展望台から梨畑を眺めながら下り、カフェイッポへ。東郷湖羽合臨海公園を通り抜け、無事観光案内所まで帰ってきました。「あ〜本当に楽しかった。近くでも十分観光できるね」と、お二人の満足そうな表情にこちらもつい嬉しくなるのでした。この日撮影した写真の数、何と700枚以上!

親子の一生の記念ですね。小椋氏にも大変お世話になりました。ウォーキングの町として定着しつつある湯梨浜町。思いのままに駆け抜けるサイクリングもまた違った魅力があります。今後は、更なるレンタサイクルステーションとの連携で、自転車の利用促進に努めてまいります。



▲伯耆国一宮倭文神社にご参拝



▲こんなところで早咲きの桜!

●はわい温泉・東郷温泉観光案内所●

湯梨浜町はわい温泉 5-22 (0858) 35-4052

9:00~17:00(最終受付 16:00)

<電動アシスト自転車> 5台

4H/1,000円 終日/2,000円

<変速付シティサイクル> 3台

4H/300円 終日/500円

<シティサイクル/NPO 未来所有 3台>

※他のステーションで乗り捨て可能
終日/300円

●総合相談センターどれみ●

湯梨浜町旭 400-6 (0858) 32-0801

9:00~17:00(最終受付 16:00)

<変速付シティサイクル> 2台

4H/300円 終日/500円

<シティサイクル/NPO 未来

所有 2

※他のステーション
乗り捨て可能
終日/300円



自転車では初めての東郷湖一周。電動アシスト自転車のおかげで楽に走ることができました。とにかく行動範囲が広がって“自由旅”を満喫♪自然と二人の会話も増えていきました。自転車って楽しい!

ナイス〜♪



▲電動アシスト体験してくれた松本親子とカメラマンの小椋氏

東郷湖周「げんきウォーキング」事業 報告会

◆「人のげんきは 町のげんき」を合言葉に、平成 24 年湯梨浜町商工会主導で発足した地域活性プロジェクト「げんきウォークプロジェクト」が令和 3 年で 10 年目を迎え、令和 4 年 3 月 23 日「東郷湖周 げんきウォーキング事業 活動 10 周年報告会」が湯梨浜町商工会で行われました。遡ること 10 年前、マイカーが定着し、歩く機会が減り鳥取県の歩行数は全国平均よりも少ないことが判明しました。高齢化率の上昇や健康問題、それに伴う医療コストの上昇や人口減少が懸念されるなかで、県民の自主的な健康増進が求められました。やがて鳥取県は「ウォーキング立県」を掲げ、湯梨浜町も「ウォーキングのまち」として恵まれた自然・景観・歴史・温泉・文化、水産物などの地域資源を活かし「観光」と「特産品」の 2 つの取り組みを同時並行的に推進してきました。

観光開発部会では、湯梨浜町（企画課・産業振興課）、観光協会、旅館組合、NPO 法人と連携しさまざまなウォーキングに関する取り組みを行い、東郷湖一周コースが「全日本ノルディックウォーキング連盟公認第 1 号コース」に認定されたのをきっかけに各ウォーキングステーションの整備や協賛店賛同など、「ウォーキング」は、町全体で取り組む事業として発展しました。

特産品開発部会では野花梅を活かした特産品開発を行い、まちの PR も兼ねた販路開拓で湯梨浜町の顔となる特産品を生み出すことができました。

今後は今までの経験や強みを生かして、新しい時代や顧客に受け入れられるプロジェクトへとリブランディングを実施してまいります。今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



湯梨浜町 みずうみワーケーション

◆近年、リモートワークなどの働き方の多様化に伴い、世界中に広がっているワーケーション。

リモートワークとは“遠隔勤務”のことで、会社から認められた場所で働くというのに対し、ワーケーションは、ワーク（労働）とバケーション（休暇）を一体化したもので、仕事をしながら休暇を取ったり旅先などで仕事をするなど、仕事と休みを組み合わせた働き方を意味します。

鳥取県でもワーケーション推進に取り組んでおり、湯梨浜町でも現在東郷湖をシンボルとしたワーケーションのための環境を整えています。東郷湖の優しい水辺でのワークは良いアイデアを生み出し、仕事に集中したあとのウォーキングやサイクリング、足湯はリラックス効果も抜群です。観光地や歴史めぐり、名物料理に舌鼓を打つのもよし。時には生活の延長のようにゆったりと過ごし、地域の人たちと触れ合う中に、新たな発見と感動があるかもしれません。さあ、湯梨浜町で！自分自身で！感動を見つけてください。



▲めぐみのゆ公園のシバザクラ（4月中旬）

<はわい温泉 水景色の指定席 湖屋> 湯梨浜町はわい温泉 15

◆2021 年 10 月 16 日（土）、はわい温泉「翠泉」から生まれ変わり、組み立て自由な旅を実現した泊食分離スタイルの「水景色の指定席 湖屋」。アウトドアの人気メーカースノーピーク製のモバイルハウス「住箱 JYUBAKO」を設置。

外観・天井・内壁・床 全てにヒノキの合板が使用されており、自然との調和は素晴らしく、名前の通り東郷湖に面した水景色の中の自分だけの指定席を演出してくれます。併設された「湖屋カフェ」では、イタリア・ナポリから取り寄せたピザ窯で湯梨浜産の素材をメインにした本格ピッツアが楽しめます。ーフ&ーフにもできるので、お仲間と色々な味を楽しむのも GOOD♪ピザに負けない主役級のフレッシュサラダも見逃せません。テイクアウトもどうぞ。



▲スノーピーク製の住箱 JYUBAKO



▲併設されたカフェで本格ピッツア&サラダをどうぞ

電話 090-9415-1085

<https://www.yurihama-koya.com/>



▲東郷湖畔より夕景の水明荘



▲4 階の露天風呂

<東郷温泉 国民宿舎水明荘> 湯梨浜町旭 132

◆鳥取県営の施設として 1957 年（昭和 32 年）10 月 1 日に開業し、1977 年（昭和 52 年）鳥取県から旧東郷町に移譲、増改築後、町村合併で湯梨浜町となった平成 16 年 10 月に湯梨浜町営国民宿舎水明荘となったお宿です。明るく広々としたロビーやレストランからは東郷湖が一望できるロケーション。大浴場や露天風呂から沈みゆく夕日を眺めるのもよし、季節の食材を活かしたお料理を楽しみながら極上の時間をお過ごしください。玄関右手には町内唯一の飲泉（龍泉の湯）がありどなたでも無料でご利用いただけます。

電話 (0858) 32-0411
FAX (0858) 32-0130
<https://www.suimeiso.jp/>

小さなお子様と一緒にでも安心な子育て応援サービス（ベビー用品貸出し/無料）や、車いすをご利用のお客様にも安心なバリアフリー客室（最大 5 名様）、家族風呂、お一人様の宿泊も気軽なシングルルーム、ツインルーム（ベッドのお部屋）も完備。その他 HP でも紹介しております。

<お問合せ>湯梨浜役場産業振興課 電話 (0858) 35-5382

リニューアル! 東郷湖羽合臨海公園

南谷公園内「キリン公園ピクニック広場」



私のご案内するワン♪

◀むぎ♀レポーター

◆東郷湖羽合臨海公園の中でもキッズから絶大な人気を誇る「キリン公園ピクニック広場」の遊具が新しくなり、3月1日(火)リニューアルしました。
東郷湖羽合臨海公園は、東郷湖を中心に川、海、山、緑、自然に恵まれた抜群の立地にあり、それぞれの特徴を活かした憩いの公園として整備されています。
キリン公園ピクニック広場のある南谷公園は、大会でも使用されるテニスコート(有料)や、オリンピックでさらに人気が高まったスケートパーク(無料)、青々とした芝生が眩しい多目的広場(無料)など思いきり体を動かすことができるエリアです。



▲キリン公園駐車場より。東屋や自動販売機、砂場もあります



◆花のマイクで話すと、パイプを通して下に居るおさるのラッパの先から声が聞こえてくるという“秘密の仕掛け”がありますワ〜ン。
正式には「伝声管」というらしいです。
内緒話もOKということですね。(≧▽≦)



メインとなるコンビネーション遊具は、可愛い3頭のキリン、サル、オウム、トラの親子がどこかに隠れています。
親子で探してみよう(*'ω'*)
ドキドキ感がたまらないトンネルすべり台に、子どもたちの挑戦心をくすぐるクライミング(壁にクライミングフォールドを取り付けたもの)、よじ登ったり、渡ったり、くぐったり、のぞいたり。子ども自身が遊び方を見つけられる夢のコンビネーション遊具です。



◆トンネルすべり台は、滑る前に出口をのぞいてドキドキ、スタートしたらあっという間に滑り降りてゴール♪何度でも挑戦したくなる楽しさです。

もう一つのコンビネーション遊具は、緩やかな傾斜で

公園内には一体何種類の動物がいるんだろう。



設定された2種類のすべり台、全体的にデッキにも手が届きやすい高さに設定された「インクルーシブ遊具」が採用されています。

これは、障がいの有無にかかわらず全ての子どもが一緒に安全・快適に遊べるよう設計・整備された遊具です。
インクルーシブとは日本語で「包み込むような、包摂的な」という意味で、「ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)」という言葉から来ており、「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み支え合う」という社会政策の理念を表しています。
近年、「インクルーシブ社会」「インクルーシブ教育」という言葉も生まれており、「誰一人取り残さない」をテーマにした持続可能な開発目標 SDGs 達成に向けての考え方を取り入れる



◆揺らめく水面をイメージした裾広がりのすべり台は、ポコポコとしたすべり心地が楽しく、下からのぞくと太陽の光が透けてキラキラ。お友達のおしりのシルエットも見えちゃうぞ。ツインすべり台で同時に仲良くGO!!

動きが広がっています。障がいの有無にかかわらず誰もが一緒に遊べる「インクルーシブ公園」も広がりつつあり日本では2020年初めて東京都に完成しました。
また、奥にある赤いロープのジャングルジムはザイルクライミングと呼ばれ、不安定ながら手足を使って登ったり下りたり足裏をしっかりと使うことで、「土踏まず」がある足を育成するのです。足裏の感覚が鍛えられると、しっかりと歩いて走れる足になるといいます。
こうした遊具のリニューアルの他、植栽管理や清掃除草などの維持管理作業を行いながら、「もっと近くに」「もっと身近に」利用できる公園であるために、皆で愛着を持ち続けたいものです。
観光客の皆さまにも親しまれる公園、賑わい創出の場となることを目指し、展開していきます。

<公園に関するお問合せ>東郷湖羽合臨海公園 (0858) 32-2189
申請等は、HPをご覧ください。 <https://www.togo-rinkai.com/>



こども園のみんな、楽しそう♪
地元で愛される公園でなくちゃ、賑わいは生まれないのだ!



泊漁港 定置網

令和4年 3/24初水揚げ

始まりました！



■2018年6月から始まった泊漁港定置網の操業も今年で5年目となり、3月24日(木)初水揚げを迎えました。

翌朝3月25日(金)泊漁港荷捌き所に立ち寄ると、ちょうど“とまり丸”が帰港し、船内の魚を仕分け台に乗せていました。

何やら大きな魚の姿が！ヨコワです。ヨコワとは、クロマグロの通俗名で地方にしか通用しない名前ようです。

ヨコワはクロマグロの若い頃を指し成長するにつれ、名前が変わりますが出世魚とはいわないそうです。

この日の収穫は、ヨコワ、アジ、コウイカ、ヤリイカ、サゴシ、セイゴ、カワハギ、カナガシラ、ノウソウなど。

ふと仕分け台を見ると、

ぽつんと取り残された魚が(≥▽≤)

サメ？「ワシはこの前サメを刺身にして食べたぞ！」と船長。



実はサメは“トロにも匹敵する美味しさ”なのだそうです。スーパーでも見たことがありませんが、全国にはサメを郷土料理として習慣的に食す地方もあるようです。ぜひ食べてみたい！泊漁港定置網は、11月末まで操業予定です。朝市は当面予定がありません。

▲船内の魚を仕分け台へ

▲プリプリ！圧巻♪▲夏のおもいでモニュメント(3月バージョン)

▲プリプリ！圧巻♪▲夏のおもいでモニュメント(3月バージョン)

鬼嫁のひなあらし

4/3(日) 午前10時~午後1時

◆3月に開催予定だった「鬼嫁のひなあらし」イベントが4月3日(日)に開催されます。

松崎地区で活躍している鬼嫁たち。女性の視点から地域づくりに携わるグループの愛称として浸透しつつあり、そのパワーは今も健在です。

新たなメンバーも加えて“楽しいこと”や“わくわくすること”を企画中です。

当日は、大山おこわ、牛ステーキ串、唐揚げ、おにぎらずBOX、おこわバーガー、逆さ稲荷寿司弁当、たご焼き、豚ミンチと根菜のカレー、ひな風だし巻き、いちご大福、鬼嫁煎餅ひなミックス、ケーキ、マフィン各種、チャイプリン、かばん、雑貨、はぎれ、石読みの他カフェ梅やでは、白玉ぜんざい、米粉カップケーキ、珈琲、紅茶、ハーブティー、ゆず茶も楽しめます。

売り切れ御免！！

皆さまのお越しをお待ちしております。

専用駐車場はありません。

ゆるりん館駐車場等をご利用ください。

<問合せ>湯梨浜町まちづくり創造事業 湯梨浜町商工会 三八市実行委員会・鬼嫁の里プロジェクト 090-7779-6175(野口)



さらに便利になった「デジタル版トリパス」も！

トリパスが新しくなります

有効期間 2022年4/1(金)~9/30(金)

◆今や鳥取旅の必須アイテムとして人気の高い「トリパス」。提携施設でトリパスを提示すると割引やプレゼントなど、嬉しい特典が受けられます。

ポケふた周遊スタンプラリーも継続中！牛骨ラーメンや鳥取のお菓子、ポケモンのサンドグッズが当たる「応募券として押すスタンプ」の他に県内全市町村19種類のポケふたスタンプがコレクションできる「スタンプ帳ページ」もありますので旅の記念にもなりますよ。



バッグにもポケットにも入るコンパクトサイズなので持ち運びにもとても便利！

さあ、トリパスを持って出かけよう。

<問い合わせ>鳥取県観光連盟 (0857)39-2111

<https://www.tottoriguide.jp/>

万寿元年(1024年)開祖九品山大伝寺 九品山会式

<日時>2022年4月15日(金)

※毎年旧暦の3/14、3/15に行っておりますが、今年もコロナの影響により4/15のみの供養とさせていただきます。出店はありません。

<受付>午前8時30分~午後12時

大施餓鬼供養/午前10時~ 午前11時~

中将姫練供養 流灌頂大施餓鬼/午後1時30分

※お焚き上げは仏具のみとなります。金物等の不燃物のご遠慮ください。「回向袋」は当日会場にございます。



事前にご希望の方は「倉仏本店」等でご準備ください。

※当日は、中将姫像を特別に御開帳しております。

<お問合せ>九品山大伝寺

〒689-0715 湯梨浜町引地 509

(0858) 32-0954

湯梨浜町 PR 大使 谷本耕治

★湯梨浜町出身歌手谷本耕治さん 全国で活動中！

<プロフィール>誕生日/6月30日 特技/小唄 [春日流小唄名取・師範]、日本舞踊、シャンソン、顔ヨガ(フェイシャルヨガ) ※インストラクター資格取得 大衆演劇や、作家・歌手 故・戸川昌子氏の付き人等で修業を重ね、2014年にインディーズレーベルにてCDデビュー。

<https://ameblo.jp/koji-tanimoto/> (問合せ) タニテツプロ合同会社 TEL/FAX 03-3361-3455

